

## 医療検査学科

臨床検査技師には病める人の視点に立てる人間性を備え、深い専門性と研究心を持ち、医療チームの一員として関連各分野のスタッフとの円滑なコミュニケーション、良好なリレーションシップを築くことが求められる。また、臨床検査技師が果たすべき役割は、遺伝子診断、生殖補助医療技術への参画、再生医療などの先端生命科学に関わる検査、診断と治療に欠かせないリアルタイムでの細胞診検査をはじめとする緊急検査、救急医療に関わる検査の実施、診断判別と治療成果の判断に寄与できるデータの提供、医療情報の管理、医療廃棄物管理、コスト管理、院内感染防止対策など、近年とみに多様化しており、医療関連職種間での優れた業務調整能力、危機管理能力、指導力などが求められるので、本学科においては以下の教育理念および教育目標を掲げる。

### 【教育理念】

豊かな人間性と高い倫理観を持ち、臨床監査に関する専門的な知識と技術を修得し、医療チームの一員として地域社会はもとより、国際社会においても貢献できる人材を育成する。

### 【教育目標】

1. 医療に携わるものとしての、豊かな人間性と高い倫理観を養う。
2. 臨床検査に関する専門的な知識・技術を修得し、医療の高度化に適応できる確かな基礎力と応用力を養う。
3. 科学的思考力と研究的態度を身につけ、臨床検査の開発・発展に貢献できる能力を養う。
4. 責任感と協調性を身につけ、チーム医療の一員として活躍できる能力を養う。
5. 時代や社会の要請に応じ、地域社会や国際社会で保健医療の向上に貢献できる能力を養う。

### 【アドミッションポリシー】

1. 臨床検査あるいは保健医療の分野で社会に貢献したいと考えている人
2. 人に対する興味をもち、思いやりをもって接することができる人
3. 知的好奇心が旺盛で、物事を科学的な視点で捉えようとする人
4. 保健医療の分野を学ぶために必要な基礎学力を備えた、学修意欲のある人

高等学校等の学習を通して数学、理科、英語について基本事項を正確に理解していること、および高校生活を通して日本語力とコミュニケーション能力を鍛えておくことが望まれます。

## 【カリキュラムポリシー】

学科の教育目標に掲げる優れた医療人を養成するため、臨床検査技師養成の指定大学として、以下の方針に基づいたカリキュラムを編成し実施する。

1. 「基盤教育分野」は、学び方の基礎を修得し主体的な学びを促す科目、豊かな人間性と高い倫理観を育むための科目、世の中の動きに応じた新たな価値の創造に繋がる科目で編成する。

高齢化の進展をはじめとする社会情勢の変化により医療需要は増大し多様化している。それに伴い、臨床検査技師の役割や必要な知識も拡大し、その変化に対応しうる能力が求められる。「基盤教育分野」の科目は、自ら学び、他者を理解し良好な人間関係を構築し、知識に基づいた安全な医療を実施するために必要不可欠な能力を養うことを目的として配置する。

2. 「専門基礎分野」は、多様な専門科目を学修する上で必要となる医学・医療における知識・技術に関する基礎的な科目に加え、多様な現場で実施される臨床検査を理解するための科目で編成する。

高齢化の進展は、予防医学、在宅医療、地域包括ケアシステムなどの分野において医療需要の増大をもたらしている。「専門基礎分野」の科目は、チーム医療の貢献に必要な他の医療分野の知識を学び、高度化する医療ニーズに対応した検査情報を提供できるよう、検査の基礎と技術のみならず、救急や病棟、在宅など様々な現場で行われる臨床検査について理解することを目的として配置する。

3. 「専門分野」は、臨床検査に関する専門的な知識・技術を修得し、医療技術の高度化に対応できる応用力を身につける科目で編成する。

専門分野内の各領域は、講義および実習または演習で構成し、知識と技術をより実践的に修得できるように設定する。さらに、専門科目で学修した知識を統合し、疾病と臨床検査の関係を理解する。また、適切に患者の病態を把握・評価できる検査データの提供を通し、チーム医療の一員として多職種連携を意図した科目を配置する。また、医療現場での実践能力を養う科目、科学的思考力および研究的態度を養う科目を設け、保健医療および臨床検査の発展に貢献できる臨床検査技師の育成を目的として配置する。

## 【ディプロマポリシー】

1. 医療人にふさわしい倫理観、対人関係形成能力を身につける。
2. 医療検査に必要な基礎知識および基本的な専門知識を修得する。
3. 医療検査の実践に必要な基本的技術を修得する。
4. 医療の発展に寄与できる問題解決能力、自己研鑽力を身につける。

**【取得できる資格】**

1. 臨床検査技師国家試験受験資格
2. 第一種衛生管理者免許

**【履修要領】****I. 卒業所要単位**

医療検査学科においては、本学に4年以上在学し、124単位以上を修得した者に卒業が認定され学士の学位が授与される。124単位の内容は次のとおりである。

1. 必修科目については、基盤教育分野から10単位、専門基礎分野から29単位、専門分野から71単位、合計110単位を修得する。
2. 選択科目については、基盤教育分野の①選択科目から6単位以上、専門基礎分野および専門分野の②\*印の選択科目から8単位以上、合計14単位以上を修得する。

MEMO



# M科カリキュラムマップ様式

ときわコンピテンシー		知性・感性・専門性・市民性								
教育課程	ディプロマポリシー	【DP1】 医療人にふさわしい倫理観、対人関係形成能力を身につける。		【DP2】 医療検査に必要な基礎知識および基本的な専門知識を修得する。		【DP3】 医療検査の実践に必要な基本的な技術を習得する。		【DP4】 医療の発展に寄与できる問題解決能力、自己研鑽力を身につける。		
	学修成果	いのちの尊さを理解し、相手を尊重した言動ができる	多様な専門職者とチームを組む、相互に尊重しながら目的に向かって協働することができる	自然科学や基礎医学などの医療検査に必要な基礎知識を修得し、応用できる	医療検査の各専門分野のデータを解釈し、患者の病態を捉え説明することができる	医療検査の実践に必要な基本的な検査技術を身につけ、応用できる	医療の高度化に資するために自ら用いる姿勢を身に付ける	医療の発展に寄与するために必要な態度を身に付ける		
基礎教育分野	まなぶる▶とさわびとI (チームビルディング)	○	○							
	まなぶる▶とさわびとII (他職種理解)	○	○							
基礎教育分野	まなぶる▶とさわびとIII (多職種連携)	○	○							○
	コンピュターリテラシー				○					
基礎教育分野	データリテラシー				○					
	統計リテラシー				○					
基礎教育分野	プログラミング入門				○					
	プログラミング演習A				○					
基礎教育分野	プログラミング演習B				○					
	健康スポーツ科学I	○	○							
基礎教育分野	健康スポーツ科学II	○	○							
	健康スポーツ科学III	○	○							
基礎教育分野	アカデミックライティング	○	○							○
	コミュニケーション論	○	○							
基礎教育分野	英語コミュニケーションI	○	○							
	英語コミュニケーションII	○	○							
基礎教育分野	英語Aa (Communicative English Basic)	○	○							
	英語Ab (Communicative English Intermediate)	○	○							
基礎教育分野	いのちと共生	○	○							
	人体のふしぎ	○	○							
基礎教育分野	現代社会と生命科学	○	○							
	生命と倫理学	○	○							
基礎教育分野	心臓臨床学	○	○							
	人間関係論	○	○							
基礎教育分野	日本国憲法	○	○							
	哲学と倫理	○	○							
基礎教育分野	ブレゼントセミナー	○	○							○
	教育と人間	○	○							
基礎教育分野	手話コミュニケーション	○	○							
	多文化コミュニケーション	○	○							
基礎教育分野	国際社会学論	○	○							
	国際社会学解境	○	○							
基礎教育分野	人類と地球環境学	○	○							
	安全とまぢづくり	○	○							
基礎教育分野	暮らしと経済学	○	○							
	組織マネジメント論	○	○							
基礎教育分野	現代社会学	○	○							○
	文学と心学	○	○							
基礎教育分野	暮らしの中の数学				○					
	暮らしの中の物理学				○					
基礎教育分野	現代社会と化学				○					
	歴史と現代学	○	○							
基礎教育分野	つながりプロジェクトI	○	○							○
	つながりプロジェクトII	○	○							○
基礎教育分野	基礎化学	○	○							
	基礎生物学	○	○							
基礎教育分野	物理学	○	○							
	化学I (無機・物理化学)	○	○							
基礎教育分野	化学II (有機化学)	○	○							
	生命科学	○	○							
基礎教育分野	基礎分析実習	○	○						○	
	臨床検査入門	○	○							○
基礎教育分野	検査入門実習	○	○							○
	医学概論	○	○							○
基礎教育分野	解剖組織学	○	○							
	組織実習	○	○							
基礎教育分野	生化学I	○	○							
	生化学II	○	○							
基礎教育分野	生化学I	○	○							
	生化学II	○	○							
基礎教育分野	栄養学	○	○							
	遺伝学	○	○							
基礎教育分野	病理学	○	○							○
	免疫学	○	○							○
基礎教育分野	薬理学	○	○							
	分子細胞生物学	○	○							○



MEMO

学科別履修要領／医療検査学科

区分	授業科目	授業形態	単位数			1年		2年		3年		4年		備考	
			必修	選択	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基盤教育分野	リテラシー科目群	まなぶる▶ときわびとI (チームビルディング)	演習	2			2							① 基盤教育分野 選択科目から 6単位以上 選択必修	
		まなぶる▶ときわびとII (他職種理解)	演習	1				1							
		まなぶる▶ときわびとIII (多職種連携)	演習		1								1		
		コンピューターリテラシー	演習	1			1								
		データリテラシー	演習	1				1							
		統計リテラシー	講義	1				1							
		プログラミング入門	演習		1			1							
		プログラミング演習A	演習		1			1							
		プログラミング演習B	演習		1			1							
		健康スポーツ科学I	講義		1		1								
		健康スポーツ科学II	演習		1		1								
		健康スポーツ科学III	実習		1			1							
		アカデミックライティング	演習	1				1							
		コミュニケーション論	講義		1			1							
		英語コミュニケーションI	演習	1				1							
		英語コミュニケーションII	演習	1				1							
		英語Aa (Communicative English Basic)	演習		1			1							
		英語Ab (Communicative English Intermediate)	演習		1			1							
		いのちと共生	講義		1			1							
		人体のふしぎ	講義		1			1							
		現代社会と生命科学	講義		1			1							
		生命と倫理	講義	1				1							
		心理臨床学	講義		1			1							
		人間関係論	講義		1			1							
		日本国憲法	講義		2			2							
		哲学と倫理	講義		1			1							
		プレゼントセミナー	講義		1			1							
		教育と人間	講義		1			1							
		手話コミュニケーション	演習		1			1							
		多文化コミュニケーション	演習		1			1							
		国際社会学	講義		1			1							
		国際社会学	講義		1			1							
		人類と地球環境	講義		1			1							
		安全と全学	講義		1			1							
		災害とまちづくり	講義		1			1							
		暮らしと経済	講義		1			1							
組織マネジメント論	講義		1			1									
現代社会学	講義		1			1									
暮らしの中の数学	講義		1			1									
暮らしの中の物理学	講義		1			1									
現代社会と化学	講義		1			1									
歴史と現代	演習		1			1									
協働実践科目群	つながりプロジェクトI	演習		1		1									
	つながりプロジェクトII	演習		1			1								
専門基礎分野	自然科学系	基礎化学	講義			2									
		基礎生物	講義			2									
		物理学	講義		1		1								
		化学I (無機・物理化学)	講義	1			1								
		化学II (有機化学)	講義	1			1								
		生命科学	講義	1			1								
		基礎分析実習	実習	1			1								
		臨床検査入門	講義	1			1								
		検査入門実習	実習	1			1								
		医学概論	講義	1			1								
		解剖組織学	講義	2			2								
		組織学実習	実習	1			1								
		生理学I	講義	1			1								
		生理学II	講義	1			1								
		生化学I	講義	1			1								
		生化学II	講義	1			1								
		栄養学	講義	1			1								
		遺伝学	講義	1			1								
		病理学	講義	2			2								
		免疫学	講義	1			1								
薬理学	講義	1			1										
分子細胞生物学	講義		1			1									
環境生理学	講義		1			1									
医学系	社会	公衆衛生学I	講義	1		1									
		公衆衛生学II	講義	1		1									
		公衆衛生学実習	実習	1		1									
		保健医療福祉総論	講義	1		1									
		予防医学	講義	1		1					1				
		情報科学概論	講義	1		1									
		医療工学	講義	2		2									
工学系	情報	医療工学実習	実習	1		1									
		ロボティクス演習	演習		1					1					

① 基盤教育分野  
選択科目から  
6単位以上  
選択必修

② \*印の  
選択科目  
から  
8単位以上  
選択必修

学科別履修要領／医療検査学科

区分	授業科目	授業形態	単位数			1年		2年		3年		4年		備考
			必修	選択	自由	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専	血液検査	血液検査学Ⅰ	講義	1				1						
		血液検査学Ⅱ	講義	1				1						
	病理検査系	血液検査学実習Ⅰ	実習	1						1				
		血液検査学実習Ⅱ	実習	1						1				
	検査系	病理検査学	講義	1					1					
		病理検査学実習Ⅰ	実習	1					1					
	一般	病理検査学実習Ⅱ	実習	1						1				
		細胞検査学	講義	2						2				
	免疫検査系	細胞検査学演習	演習		1							1		
		一般検査学	講義	1				1						
生化学	一般検査学実習	実習	1					1						
	免疫検査学実習	実習	1					1						
遺伝子検査	臨床化学検査学Ⅰ	講義	1					1						
	臨床化学検査学Ⅱ	講義	1						1					
輸血・移植検査	臨床化学検査学実習Ⅰ	実習	1						1					
	臨床化学検査学実習Ⅱ	実習	1							1				
微生物検査	免疫検査学	講義	1						1					
	免疫検査学実習	実習	1							1				
生理検査系	遺伝子・染色体検査学	講義	1						1					
	遺伝子・染色体検査学実習	実習	1							1				
臨床病態学系	輸血・移植検査学	講義	2							2				
	輸血・移植検査学実習	実習	1								1			
臨床検査安全管理系	微生物検査学Ⅰ	講義	2					2						
	微生物検査学Ⅱ	講義	1						1					
臨床検査安全管理系	微生物検査学実習Ⅰ	実習	1							1				
	微生物検査学実習Ⅱ	実習	2								2			
臨床検査安全管理系	生理機能検査学Ⅰ(循環器系)	講義	2					2						
	生理機能検査学Ⅱ(神経系)	講義	2					2						
臨床検査安全管理系	生理機能検査学Ⅲ(呼吸器系)	講義	2					2						
	画像検査学	講義	1							1				
臨床検査安全管理系	生理機能検査学実習Ⅰ	実習	1						1					
	生理機能検査学実習Ⅱ	実習	1							1				
臨床検査安全管理系	生理機能検査学演習	演習	1								1			
	臨床病態学Ⅰ(病因・病態)	講義	1							1				
臨床検査安全管理系	臨床病態学Ⅱ(病態解析)	講義	2								2			
	臨床病態学Ⅲ(発展)	講義	1									1		
臨床検査安全管理系	総合医学検査演習	演習	2									2		
	検査機器総論	講義	1			1								
臨床検査安全管理系	検査管理総論	講義	1					1						
	推測統計学	講義	1						1					
臨床検査安全管理系	IPW(多職種連携)論	講義	1							1				
	感染制御学	講義	1								1			
臨床検査安全管理系	医療コミュニケーション演習	演習	1									1		
	医療安全全	講義	1							1				
臨床検査安全管理系	検体採取安全管理演習	演習	1								1			
	技能修得到達度評価	実習	1									1		
臨床検査安全管理系	臨地実習	実習	11									11		
	医療英語	演習	1					1						
臨床検査安全管理系	卒業研究	演習	4										4	
	国際保健医療活動Ⅰ	講義	1								1			
臨床検査安全管理系	国際保健医療活動Ⅱ	演習		1						1				
	対人援助技術演習	演習		1				1						
臨床検査安全管理系	分子感染制御学演習	演習		1						1				
	遺伝子工学	講義		1							1			
臨床検査安全管理系	文献講義	演習		1							1			
	先進医学検査学	講義		1						1				
臨床検査安全管理系	バイオインフォマティクス	講義		1								1		
	細胞検査学特論Ⅰ	講義		2								2		
臨床検査安全管理系	細胞検査学特論Ⅱ	講義		2								2		
	総合医学検査特論	講義		2									2	
臨床検査安全管理系	労働衛生学Ⅰ	講義		2				2						
	労働衛生学Ⅱ	講義		2								2		
臨床検査安全管理系	労働基準法	講義			1								1	
	労働安全衛生法規	講義			3								3	
合計				110	59	8								

② \*印の選択科目から8単位以上選択必修

(注意) 1. 授業科目の学年配当は標準を示すものです。時間割表と一致しない場合がありますので注意すること。

## II 履修上の注意事項

1. 臨床検査技師国家試験受験資格を取得しようとする者は、本学に4年以上在学し、学則第35条第1項第1号に定める単位すなわち、上記卒業所要単位を修得しなければならない。

2. 細胞検査士資格認定試験の受験資格を取得する場合

細胞検査士とは日本臨床細胞学会が認定する学会認定資格である。細胞診検査では光学顕微鏡で種々の細胞を観察し、各種病変の推定診断を行う。この検査は悪性腫瘍（ガン）や炎症性疾患などの早期発見・早期診断に極めて重要な検査法の一つで検査の結果は患者の診断・治療方針に直接・密接に関わっている。細胞診検査に従事する細胞検査士には、その検査を行うにふさわしい知識・技術・判断力が要求される。

細胞検査士になるためには、細胞検査士資格認定試験の受験資格を得て認定試験に合格しなければならない。本学には日本細胞学会に認定された細胞検査士養成課程があり、この課程を修了し所定の条件を満たした者には受験資格が与えられ、在学中（4年次）に受験することが可能である。

(1) 細胞検査士資格認定試験受験資格の要件

本学の養成課程において、日本臨床細胞学会に認定試験の受験申請を行うことができる者は、次の①および②をすべて満たす者である。

- ① 臨床検査技師国家試験受験資格を取得する見込みの者、即ち医療検査学科の卒業所要単位を修得する見込みの者。
- ② 細胞検査士養成課程（4年次）にて「細胞検査学特論Ⅰ」「細胞検査学特論Ⅱ」を含む900時間以上の所定の課程を原則として入学後4年目に修了した者。

(2) 「細胞検査学特論Ⅰ」「細胞検査学特論Ⅱ」の履修要件

3年次修了までに「細胞検査学」「細胞検査学演習」の単位を全て修得していること。

(3) 細胞検査士資格認定試験

最終学年（4年次）の10月に1次試験、12月に2次試験が行われる。2次試験合格者は仮合格となり、同年度の臨床検査技師国家試験に合格すれば、正式に細胞検査士資格認定試験合格となる。なお、臨床検査技師国家試験不合格の場合、細胞検査士資格認定試験の仮合格は取り消しとなる。

(4) その他

- ① 養成課程の受講生は15名以内とする。
- ② 細胞検査士養成課程に進むためには、基礎的な科目である「細胞検査学」「細胞検査学演習」に加え「解剖組織学」「組織学実習」「病理学」「病理検査学」「病理検査学実習Ⅰ」「病理検査学実習Ⅱ」およびその他の科目について一定以上の優秀な成績を修めていることを条件とする。
- ③ 学費とは別に養成課程の費用を徴収する。徴収した費用は返還しない。
- ④ 養成課程の詳細は別途資料を参照のこと。

## 学科別履修要領／医療検査学科

## 3. 第一種衛生管理者免許を取得する場合

衛生管理者は労働安全衛生法に定められている国家資格で、常時50人以上の労働者を使用する事業場では、衛生管理者を専任することが義務づけられている。衛生管理者の免許を有する者のうちから労働者数に応じ一定数以上の衛生管理者を選任し、安全衛生業務のうち、衛生に係わる技術的な事項を管理させることが必要である。第一種衛生管理者免許を有する者は、有害業務を含むすべての業種の事業場において衛生管理者となることができる。主な職務として、労働者の健康障害を防止するための作業環境管理、作業管理及び健康管理、労働衛生教育の実施、健康の保持増進措置などである。具体的には、作業環境の衛生上の調査、健康に異常がある者の発見と処置、衛生用保護具または救急用品等の点検および整備、作業条件および施設等の衛生上の改善、衛生教育および健康相談その他労働者の健康保持に必要な業務を行う。

## (1) 第一種衛生管理者免許取得の要件

労働安全衛生規則第62条により、大学において保健衛生に関する学科を専攻し卒業した者または大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者で、労働衛生に関する科目を修得することにより、第一種衛生管理者の免許取得に当たり試験が免除される。

すなわち、本学医療検査学科の卒業所要単位を修得するとともに、「第一種衛生管理者免許取得に必要な単位数」を修得しなければならない。単位数及び科目は後日指示する。

## (2) 第一種衛生管理者免許の申請

本学医療検査学科を卒業後、住所地の都道府県労働局に申請することにより、第一種衛生管理者免許を取得できる。免許の申請には、所定の科目を修得した証明書が必要となる。

別表A 第一種衛生管理者免許取得に必要な単位数

区分	医療検査学科で開設している授業科目	授業形態	開設単位数			免許取得に必要な単位数	
			必修	選択	自由	必修	選択
教育基盤	統計リテラシー	講義	1			1	
専門基礎科目	解剖組織学	講義	2			2	
	生理学Ⅰ	講義	1			1	
	生理学Ⅱ	講義	1			1	
	免疫学	講義	1			1	
	栄養学	講義	1			1	
	環境生理学	講義		1		1	
	公衆衛生学Ⅰ	講義	1			1	
	公衆衛生学Ⅱ	講義	1			1	
	予防医学	講義	1			1	
	専門科目	血液検査学Ⅰ	講義	1			1
血液検査学Ⅱ		講義	1			1	
一般検査学		講義	1			1	
微生物検査学Ⅰ		講義	2			2	
微生物検査学Ⅱ		講義	1			1	
生理機能検査学Ⅰ		講義	2			2	
生理機能検査学Ⅱ		講義	2			2	
生理機能検査学Ⅲ		講義	2			2	
感染制御学		講義	1			1	
対人援助技術演習		演習		1		1	
労働衛生学Ⅰ		講義		2		2	
労働衛生学Ⅱ		講義		2		2	
労働基準法		講義			1	1	
労働安全衛生法規		講義			3	3	
合 計			23	6	4	33	